

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
大田原市	金田地区 (中中原地区)	令和2年2月22日	令和6年3月19日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	250 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	209 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	38.80 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	27.23 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	- ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	190.57ha
(備考)	

2 対象地区の課題

地区全体の課題として、高齢化、後継者不足が進行している。

上深田地区・下深田地区・荒屋敷地区は、圃場整備済の地区及び現在進行中の地区であり、耕作条件は良いが、比較的后継者が限られている。

明宿・河原地区では、耕作条件は良くなく、自作よりは転用を希望する傾向が強い。

二本松地区では、自作地は少なく、近隣地区からの耕作者が多い。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

上深田地区・下深田地区・荒屋敷地区については、圃場整備済及び現在進行中なので、意欲ある担い手を中心に集積・集約化を推進していく。

また、新規就農者や新たな担い手を模索する。

明宿地区・河原地区・二本松地区では、近隣地区からの担い手2名を中心に耕作していく。

荒屋敷・河原地区には、多面的機能支払の活動地区があるので、活動を継続しながら、農地の保全に努めていく。また、自作が難しい農地についても地区内の担い手1名と近隣地区からの耕作者2～3名を中心に耕作していく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

圃場整備への取組方針

上深田地区・下深田地区・荒屋敷地区では、圃場整備済及び現在進行中の地区を中心に、農地中間管理事業等を活用した更なる農地の集積・集約化を推進していく。

多面的機能支払への取組方針

荒屋敷・河原地区では、耕作放棄地の発生防止、地域のコミュニティ形成及び景観の維持につなげていくためにも、当該活動を引き続き継続させていく。